

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：専門的職業人として活動するために必要な商学に関連する高度な専門知識や研究能力を修得し活用することができる。

【技能】

DP2：商学に関連する幅広く高度な専門知識に基づいた優れた課題発見能力及び課題解決能力を有している。

DP3：独創的な視点から研究を行い、必要な情報を収集・分析し、修士論文へと結実することのできる論理的思考力と論文作成能力を有している。

DP4：論理的思考力と論文作成能力を身に付けることによって自身の主張を明確に述べることができる。

【態度・志向性】

DP5：商学に関連する基礎知識を蓄える意欲を持っている。

DP6：商学に関連する強い知的探求心を持ち続けることができる。

*3つのポリシー DPと
特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	コース	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
主要科目	商学研究 コース	商業学講義	4	1	通年	◎	○			○	
		商業学研究	8	1	通年	◎		○			○
		流通システム論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		流通システム論研究	8	1	通年	◎		○			○
		マーケティング論講義	4	1	通年	◎	○			○	○
		マーケティング論研究	8	1	通年	◎	○	○	○	○	◎
		情報産業論講義	4	1	通年	◎	◎			○	○
		情報産業論研究	8	1	通年			◎	◎	○	○
		市場分析論講義	4	1	通年	◎	◎			○	
		市場分析論研究	8	1	通年			◎	◎		○
		マーケティング・モデル講義	4	1	通年	◎	◎				
		マーケティング・モデル研究	8	1	通年	◎	◎	○	○		
		消費者行動講義	4	1	通年	◎	○	○			
		消費者行動研究	8	1	通年	◎	○	○			○
		金融論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		金融論研究	8	1	通年	◎		○			○
		銀行論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		銀行論研究	8	1	通年	◎		○			○
		証券経済論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		証券経済論研究	8	1	通年	◎		○			○
		保険論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		保険論研究	8	1	通年			◎	◎		○
		リスク・マネジメント論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		リスク・マネジメント論研究	8	1	通年			◎	◎		○
		交通経済論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		交通経済論研究	8	1	通年	◎		○	○		○
		国際交通論講義	4	1	通年	◎	○	○	○	○	○
		国際交通論研究	8	1	通年	◎	○	◎	◎	○	○
		国際経済論講義	4	1	通年	◎	◎			○	
		国際経済論研究	8	1	通年			◎	◎		○
		貿易論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		貿易論研究	8	1	通年	◎		○			○
貿易政策講義	4	1	通年	◎	○			○			
貿易政策研究	8	1	通年	◎		○			○		
貿易商務論講義	4	1	通年	◎	○			○			
貿易商務論研究	8	1	通年	◎		○			○		
国際金融論講義	4	1	通年	◎	◎			○			
国際金融論研究	8	1	通年			◎	◎		○		
外国為替論講義	4	1	通年	◎	○			○			

	外国為替論研究	8	1	通年	◎		○			○	
	比較金融システム論講義	4	1	通年	◎	○			○		
	比較金融システム論研究	8	1	通年	◎		○			○	
	アメリカ経済論講義	4	1	通年	◎	○			○		
	アメリカ経済論研究	8	1	通年	◎		○			○	
	アジア経済論講義	4	1	通年	◎	○	◎		○		
	アジア経済論研究	8	1	通年	◎		◎			○	
	開発経済論講義	4	1	通年	○	◎			◎	○	
	開発経済論研究	8	1	通年	○	○	◎	◎			
	国際開発論講義	4	1	通年	◎	○			○		
	国際開発論研究	8	1	通年	◎		○			○	
	商業史講義	4	1	通年	◎	○			○		
	商業史研究	8	1	通年	◎		○			○	
	日本商業史講義	4	1	通年	◎	○			○		
	日本商業史研究	8	1	通年			◎	◎		○	
	選択科目	貿易契約論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		国際経済事情講義	4	1	通年	◎	○			○	
		商学特別講義Ⅰ	4	1	通年	◎	○			○	
		商学特別講義Ⅱ	4	1	通年	◎	○			○	
		商学特別講義Ⅲ（eコマース）	2	1	前期	◎	○			○	
商学特別講義Ⅳ（企業の経済学）		2	1	前期	◎	○			○		
商学特別講義Ⅴ		2	1	（半期）	◎	○			○		
共通科目	独語原書講読	4	1	通年	◎				○		
	仏語原書講読	4	1	通年	◎				○		

※修士課程又は博士課程前期の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。（ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：32単位以上

専修科目：12単位（第1年次で講義科目4単位、第1年次及び第2年次で研究科目8単位）

専修科目以外の主要科目（講義）及び選択科目：8単位以上

自由履修単位として、専修科目以外の主要科目（講義）及び選択科目のうちから12単位以上。

※主要科目のうち、1授業科目（講義・研究）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

※専修科目の担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受ける。

※指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めた場合は、前項の規定にかかわらず、他の研究科博士課程前期及び修士課程の履修しようとする授業科目について、その担当教員の承認を受け履修し、8単位を限度に自由履修単位として修得単位に算入することができる。

・修士の学位論文は、専修科目について提出する。

1年次 商学研究に関連する現状の把握と研究遂行に必要な基礎力養成

研究テーマに関して文献を収集し、読み込む。

また講義や演習を通じて研究テーマに関する幅広い知識を獲得し、さらに論文テーマの絞り込みを行う。

2年次 商学に関連する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力の養成

指導教員の指導の下、修士論文のテーマを決め、さらに文献や資料を読み込み、修士論文を完成させる。

6月：中間論題提出

9月：修士論文中間報告会

10月：最終論題提出

1月初旬：修士論文完成

1月末：公开发表会

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：専門的職業人として活動するために必要な経営学に関連する高度な専門知識や研究能力を修得し活用することができる。

【技能】

DP2：経営学に関連する幅広く高度な専門知識に基づいた優れた課題発見能力及び課題解決能力を有している。

DP3：独創的な視点から研究を行い、必要な情報を収集・分析し、修士論文へと結実することのできる論理的思考力と論文作成能力を有している。

DP4：論理的思考力と論文作成能力を身に付けることによって自身の主張を明確に述べることができる。

【態度・志向性】

DP5：経営学に関連する基礎知識を蓄える意欲を持っている。

DP6：経営学に関連する強い知的探求心を持ち続けることができる。

*3つのポリシー DPと
特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	コース	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性	
						DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
主要科目	経営学コース	経営学講義	4	1	通年	○				◎	
		経営学研究	8	1	通年			◎	○		○
		経営管理論講義	4	1	通年	○	○			◎	
		経営管理論研究	8	1	通年	○		◎	◎	○	
		経営組織論講義	4	1	通年	○				◎	○
		経営組織論研究	8	1	通年		○	◎	◎	○	◎
		経営財務論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		経営財務論研究	8	1	通年			◎	○		○
		ヒューマン・リソース・マネジメント講義	4	1	通年	○	○			◎	
		ヒューマン・リソース・マネジメント研究	8	1	通年		○	◎	◎	○	
		現代企業論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		現代企業論研究	8	1	通年			◎	○		○
		中小企業経営論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		中小企業経営論研究	8	1	通年			◎	○		○
		国際経営論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		国際経営論研究	8	1	通年			◎	○		○
		オペレーションズ・リサーチ講義	4	1	通年	◎	○			○	
		オペレーションズ・リサーチ研究	8	1	通年			◎	○		○
		経営戦略論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		経営戦略論研究	8	1	通年			◎	○		○
		会計学講義	4	1	通年	◎	○			○	
		会計学研究	8	1	通年			◎	○		○
		財務諸表論講義	4	1	通年	◎					○
		財務諸表論研究	8	1	通年			◎	○	○	
		財務会計論講義	4	1	通年	○			○		
		財務会計論研究	8	1	通年	◎				○	
		簿記学講義	4	1	通年	◎	○			○	
		簿記学研究	8	1	通年			◎	○		○
		原価計算論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		原価計算論研究	8	1	通年			◎	○		○
		管理会計論講義	4	1	通年	◎	○			○	
		管理会計論研究	8	1	通年			◎	○		○
経営分析論講義	4	1	通年	○	○			◎			
経営分析論研究	8	1	通年			◎	○		○		
国際会計論講義	4	1	通年	◎				○			
国際会計論研究	8	1	通年			○	◎	○			
法人税法講義	4	1	通年	○	○			◎	○		
法人税法研究	8	1	通年			○	○	◎			

選択科目	所得税法講義	4	1	通年	○	○		◎	○
	消費税法講義	4	1	通年	○	○		◎	○
	法人税法実務講義	4	1	通年	○	○		◎	○
	相続税法講義	4	1	通年	○	○		◎	○
	経営史講義	4	1	通年	○	○		◎	○
	会計監査講義	4	1	通年	◎	○		○	
	経営学特別講義Ⅰ	4	1	通年	◎	○		○	○
	経営学特別講義Ⅱ	4	1	通年	◎	○		○	
	経営学特別講義Ⅲ(会計学)	2	1	(半期)	○	○		◎	
	経営学特別講義Ⅳ(国際財務報告)	2	1	(半期)	○	○		◎	
	経営学特別講義Ⅴ	2	1	(半期)	○	○		◎	
共通科目	独語原書講読	4	1	通年	◎			○	
	仏語原書講読	4	1	通年	◎			○	

※修士課程又は博士課程前期の修了の要件は、大学院に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。（ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

・必要修得単位：32単位以上

専修科目：12単位（第1年次で講義科目4単位、第1年次及び第2年次で研究科目8単位）

専修科目以外の主要科目（講義）及び選択科目：8単位以上

自由履修単位として、専修科目以外の主要科目（講義）及び選択科目のうちから12単位以上。

※主要科目のうち、1授業科目（講義・研究）を選定し、これをその学生の専修科目とする。

※専修科目の担当者を指導教員とし、授業科目の選択、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受ける。

※指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めた場合は、前項の規定にかかわらず、他の研究科博士課程前期及び修士課程の履修しようとする授業科目について、その担当教員の承認を受け履修し、8単位を限度に自由履修単位として修得単位に算入することができる。

・修士の学位論文は、専修科目について提出する。

1年次 経営学研究に関する現状の把握と研究遂行に必要な基礎力養成

研究テーマに関して文献を収集し、読み込む。

また講義や演習を通じて研究テーマに関する幅広い知識を獲得し、さらに論文テーマの絞り込みを行う。

2年次 商学に関連する研究を実施し、専門的知識に基づいた論理的説明能力と研究遂行力の養成

指導教員の指導の下、修士論文のテーマを決め、さらに文献や資料を読み込み、修士論文を完成させる。

6月：中間論題提出

9月：修士論文中間報告会

10月：最終論題提出

1月初旬：修士論文完成

1月末：公開発表会

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材養成の目的および教育研究上の目的のもと、次に掲げる資質・能力を有していると認められる者に学位を授与する。

【知識・理解】

DP1：商学または経営学に関連する幅広く高度な専門知識を有することができる。

DP2：研究テーマについて独創的な研究成果をあげることができる。

【技能】

DP3：研究者として独創的な研究を自立して遂行できる研究能力を有している。

DP4：研究成果を論文として公表し、学会報告で有効に発信できるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を有している。

【態度・志向性】

DP5：研究を通じて、社会で活躍する専門的研究者として成長する意欲を持っている。

*3つのポリシー DPと
特に強く関連：◎ 強く関連：○

部門	授業科目名	単位数	配当年次	期別	知識・理解		技能		態度・志向性
					DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
	商業論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	商業論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	商業論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	商業論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
	商業論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
	商業論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
	流通論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎				
	流通論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎				
	流通論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎				
	流通論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎			○	
	流通論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎			○	
	流通論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎			○	
	マーケティング論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	マーケティング論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	マーケティング論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	マーケティング論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
	マーケティング論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
	マーケティング論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
	比較金融システム論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	比較金融システム論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	比較金融システム論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	比較金融システム論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
	比較金融システム論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
	比較金融システム論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
	アジア経済論特別研究Ⅰa	4	1	前期	○	○		◎	○
	アジア経済論特別研究Ⅰb	4	1	後期	○	○		◎	○
	アジア経済論特別研究Ⅱa	4	2	前期	○	○		◎	○
	アジア経済論特別研究Ⅱb	4	2	後期	○	○		◎	○
	アジア経済論特別研究Ⅲa	4	3	前期	○	○		◎	○
	アジア経済論特別研究Ⅲb	4	3	後期	○	○		◎	○
	国際経済論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	国際経済論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	国際経済論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	国際経済論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		○		○
	国際経済論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		◎		○
	国際経済論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		◎		○
	貿易論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	貿易論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	貿易論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	貿易論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
	貿易論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
	貿易論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
	貿易政策特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	貿易政策特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
	貿易政策特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
	貿易政策特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
	貿易政策特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
	貿易政策特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
	貿易商務論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
	貿易商務論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○

研究指導科目

貿易商務論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
貿易商務論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
貿易商務論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
貿易商務論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
国際金融論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		◎		○
国際金融論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		◎		○
国際金融論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		◎		○
国際金融論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		◎		○
国際金融論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		◎		○
国際金融論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		◎		○
発展途上国経済論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
発展途上国経済論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
発展途上国経済論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
発展途上国経済論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
発展途上国経済論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
発展途上国経済論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
交通経済論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
交通経済論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
交通経済論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
交通経済論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
交通経済論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
交通経済論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
交通政策特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
交通政策特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
交通政策特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
交通政策特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
交通政策特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
交通政策特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
保険論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
保険論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
保険論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
保険論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
保険論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
保険論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
商品学特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
商品学特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
商品学特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
商品学特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
商品学特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
商品学特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
日本商業史特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
日本商業史特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
日本商業史特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
日本商業史特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
日本商業史特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
日本商業史特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
貿易史特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
貿易史特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
貿易史特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
貿易史特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
貿易史特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
貿易史特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
西洋商業史特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
西洋商業史特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
西洋商業史特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
西洋商業史特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
西洋商業史特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
西洋商業史特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
経営学特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
経営学特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
経営学特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
経営学特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
経営学特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
経営学特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
経営組織論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
経営組織論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
経営組織論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
経営組織論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
経営組織論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
経営組織論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
経営財務論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
経営財務論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○

経営財務論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
経営財務論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
経営財務論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
経営財務論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
経営労務論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
経営労務論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
経営労務論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
経営労務論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		○		○
経営労務論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		○		○
経営労務論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		○		○
企業論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
企業論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
企業論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
企業論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
企業論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
企業論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
オペレーションズ・リサーチ特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
経営戦略論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎	○	○		○
経営戦略論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎	○	○		○
経営戦略論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎	○	○		○
経営戦略論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎	○	○		○
経営戦略論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎	○	○		○
経営戦略論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎	○	○		○
会計学特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
会計学特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
会計学特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
会計学特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
会計学特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
会計学特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
財務諸表論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
財務諸表論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
財務諸表論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
財務諸表論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
財務諸表論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
財務諸表論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
簿記原理特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
簿記原理特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
簿記原理特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
簿記原理特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
簿記原理特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
簿記原理特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
原価計算論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○		○
原価計算論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
原価計算論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		○
原価計算論特別研究Ⅱb	4	2	後期		◎		○	○
原価計算論特別研究Ⅲa	4	3	前期		◎		○	○
原価計算論特別研究Ⅲb	4	3	後期		◎		○	○
管理会計論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○	○	
管理会計論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○	○	○
管理会計論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○	○	
管理会計論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		○	○	○
管理会計論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		○	○	
管理会計論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		○	○	○
国際会計論特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○	○	
国際会計論特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○		○
国際会計論特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○		
国際会計論特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		○		○
国際会計論特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		○		
国際会計論特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		○		○
法人税法特別研究Ⅰa	4	1	前期	◎		○	○	
法人税法特別研究Ⅰb	4	1	後期	◎		○	○	○
法人税法特別研究Ⅱa	4	2	前期	◎		○	○	
法人税法特別研究Ⅱb	4	2	後期	◎		○	○	○
法人税法特別研究Ⅲa	4	3	前期	◎		○	○	
法人税法特別研究Ⅲb	4	3	後期	◎		○	○	○
商学特修講義A	2		前期	◎	○			
商学特修講義B	2		前期	◎	○			

特 修 科 目	商学特修講義C	2		前期	◎	○			
	商学特修講義D	2		前期	◎	○			
	商学特修講義E	2		後期	◎	○			
	商学特修講義F	2		後期	◎	○			
	商学特修講義G	2		後期	◎		○		○
	商学特修講義H	2		後期	◎	○			

博士課程後期の場合

※博士課程後期の修了の要件は、大学院に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。（優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。）

DPに示す資質・能力を有していると認められるものに学位が授与される。

- ・必要修得単位：24単位以上
 専修科目：24単位
 特修科目：2科目4単位以上
- ・博士の学位論文は、専修科目について提出する。

1年次 商学研究に関連する幅広く高度な専門知識と独創的な研究遂行力の養成

- ・4月：指導教員の指導のもと、研究目的、研究の意義、研究方法等を踏まえた博士論文作成のための研究計画を作成。
- ・4月以降：研究計画に合わせて、商学研究科大学院論集、各種学会の学術誌への投稿、部会及び全国大会等での発表を目標とし、研究を進めていく。

2年次 商学に関連する独創的な研究を実施し、自立して遂行できる研究遂行力の養成

- ・4月：指導教員の指導のもと、研究進捗状況に合わせ、研究計画の見直し。
- ・4月以降：計画に従い、研究を進めていく。

3年次 商学に関連する独創的な研究を実施し、論文として公表し、学会報告で発信できる研究遂行力の養成

- ・8月末日まで：博士申請予定論文提出。
- ・8月末日～11月中旬：指導教員並びに他の教員等から指導を受けながら、本申請に向けて論文の改善。
- ・11月下旬まで：本申請に係る書類提出。
- ・11月下旬から1月下旬：査読、主査・副査同席のもとでの本人による論文の説明会、論文公聴会、最終試験等の本審査実施。
- ・2月上旬：最終論文提出。